

2008. 9. 28 聖別会

# IMMANUEL

インマヌエル  
中目黒キリスト教会  
聖別会マンスリー



## きよめのハイウェイ⑧ 「転機の後を取る姿勢、その2」

テキスト：「そういうわけですから、愛する人たち、いつも従順であったように、私がいるときだけでなく、私のいない今はなおさら、恐れおののいて自分の救いを達成してください。」（ピリピ 2:12）

### <復習>

A. 「転機」の意味するものは、

①自我の磔殺（ガラ 5:24）；②十字架と一体化（ローマ 6:11）；③全き献身の告白（ローマ 12:1）；全ききよめ（ヘブル 7:25）；聖霊の満たし（使徒 2:4、15:8-9）

B. 転機の後姿勢として、ローマ 12:2 から、

①献身の確認と継続；②世の価値観に染まらぬこと；③自分を変え続ける姿勢

今日はピリピ 2:12-17 から「救いの完成」について学ぶ。

1. 神の主権的働きと人間側の協力（12-13 節）

2. その目標

①「道徳的純潔さ」（15 節）  
②「積極的証」（16 節）  
③「キリストの心」（5 節）

3. 私達の取るべき姿勢

①従順（12 節 a）：指導者の教えと模範に従う（この場合にはパウロの模範、5 節ではキリストの模範）

- ②（良い意味での）恐れと戦き(12 節 b)：無力さの自覚であり、謙遜に通じる
- ③信頼と満足(14 節)：眩きと疑いは、成長の大敵。主の最善を信じる信頼、主の賜物への満足と感謝が肝要
- ④御言（16 節）：御言の継続的な学び、思い巡らし、把握、そして実行が鍵である。

<テーマソング> 「みくにの大路」(福讃 365)

- ①みくにの大路に 花咲きかおり  
救いを喜ぶ 歌声絶えず  
(折返) みくにの大路を 直く歩めば  
憂いの雨晴れ、朝日輝く
- ②大路をいきつつ み声を聞きて  
さかえの御顔を 仰ぐうれしさ
- ③めぐみの春雨 草木にかかり  
泉は湧きいで 旅人(たびと)を生かす